

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-2	事業名	乗継施設等整備推進事業				
担当	市)総合交通計画部交通計画課 菅井 211-2275						
全体計画							
事業内容	公共交通機関の乗り継ぎを円滑にし、利便性を高めることを目的に、平成14年度に「札幌市乗継施設等整備基本計画」を策定した。その中で、施設整備を一体的に行う必要があるなど、優先度が高い駅周辺地区について、具体的な乗継施設等の検討を行う。			<年度別の事業内容>			
	<p>栄町：地下鉄栄町周辺における公共交通の利用促進や、乗継環境の向上を目的に、地元住民とのワークショップ等を行いながら、具体的な検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗継円滑化に向けての検討 ・地元住民とのワークショップ ・路上駐輪場の社会実験の実施 など <p>苗穂：苗穂駅南北駅前広場及び自由通路の都市計画決定に向け、具体的な調査・検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討施設：南口駅前広場、北口駅前広場、自由通路 <p>基本計画：新たな都市交通体系マスタープランを受けて「札幌市乗継施設等整備基本計画」の見直しを行う。</p>			<p>平成19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄町駅周辺交通環境整備計画の策定 ・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調査・検討 <p>平成20年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄町駅周辺駐輪場整備の検討 ・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調整 <p>平成21年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定 ・基本計画の見直し <p>平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の見直し 			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>栄町 地元住民とのワークショップを3回行い、「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定した。 また、ワークショップの結果についてはニュースレターを発行し、地元へ情報提供を行った。 さらに、路上駐輪場の社会実験を2箇所で行った。</p> <p>苗穂 JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調査・検討を行った。</p>			<p>栄町 新たな駐輪場の整備に向けた検討を行う。 また、路上駐輪場の社会実験を2箇所で行う予定。</p> <p>苗穂 JR苗穂駅に係る交通施設の、都市計画決定に向けた関係機関との協議を行う。</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
栄町駅周辺交通環境整備計画の策定		検討	策定	/	/	/	策定(19年度)
乗継施設等整備基本計画の見直し		検討		調整	検討	策定	策定(22年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 栄町：地元住民との勉強会やワークショップを通じて問題点を把握し、「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定した。 苗穂：住民、企業、行政の協働で、「苗穂駅周辺地区まちづくり計画」が策定されています。また、今後の計画策定においても、地元まちづくり協議会等の意見を取り入れながら進めていく。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 栄町においては、バス事業者と連携しながら、バス待ち環境の向上に努めている。 [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 苗穂においては、事業の成果に大きな影響を与えることから、JR北海道との連携が重要である。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-2		事業名	乗継施設等整備推進事業		
評価(成果)				課題		
栄町:地元住民と協働で、「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定し、今後の具体的な施設整備に繋げることができた。 苗穂:JR苗穂駅に係る交通施設の調査検討を行った。				周辺のまちづくりと歩調を合わせた検討が重要であり、関係機関や地元住民等と調整をとりながら、整備効果が最大限発揮できるように、施設規模や事業手法などを検討する必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
平成23年度以降については、乗継施設等整備基本計画の見直しを踏まえ、優先度の高い駅周辺地区から整備検討する予定である。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	11,000	6,000	5,000	5,000	27,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,000	6,000	5,000	5,000	27,000	
予算	事業費	11,000	9,300	-	-	20,300
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
一般財源	11,000	9,300			20,300	
実績	事業費	13,147	-	-	-	13,147
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
一般財源	13,147				13,147	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				83.1%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体) 苗穂駅に係る調査検討費が当初見込みより増額したことにより、乗継施設等整備基本計画の見直しに係る経費を削減する予定。						
[19年度] 調査検討費に増額(栄町駅:5,000千円 3,500千円、苗穂駅:6,000千円 9,600千円) [20年度] 苗穂駅に係る補足検討が必要となった(6,000千円 9,300千円) [21年度] 5,000千円 2,300千円 [22年度] 5,000千円 2,300千円						